



事業者名	静岡県									
機器名	フーリエ変換赤外分光分析装置									
写真										
特徴・用途	自動車部品等に付着した異物等の検査や樹脂部品自体の成分等の検査を行う。									
設置場所	静岡県工業技術研究所									
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)	
					件数(件)	時間(時間)				
	H 26年1月									0
	H 26年2月									0
	H 26年3月	13	8	24	0	0	0	3		35
	H 26年4月	8	2	14	0	0	0	2		18
	H 26年5月	11	4	16	0	0	0	2		22
	H 26年6月	13	3	27	0	0	2	3		35
	H 26年7月	19	19	32	2	3	0	3		56
	H 26年8月	13	14	27	1	2	0	3		45
	H 26年9月	15	5	19	0	0	0	3		27
	H 26年10月	17	17	35	2	2	0	5		59
	H 26年11月	10	12	30	1	1	2	4		49
H 26年12月	13	7	28	0	0	0	0		35	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異物分析は、製品管理上、非常に重要な業務であるが、中小企業では、機器導入のハードルが高い。</li> <li>・公設試験所に、最新の機器が入り、測定できる対象物も広がったため、今後も積極的に利用したい。</li> </ul>									
研究開発事例等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・＜静岡大学との共同研究＞</li> </ul> 環境に優しい生分解性プラスチックであるポリ乳酸樹脂の普及を図るため、樹脂表面の官能基を置換することにより、元の樹脂に無い性質を付与する研究を行っている。本機器を使用することにより、置換した官能基の分布状態を計測できないか研究を進めている。									
補助事業概要の広報資料	<a href="http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-130koho.pdf">http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-130koho.pdf</a>									

事業者名	静岡県								
機器名	微小硬度試験システム								
写真									
特徴・用途	微小硬度試験は、小さな荷重で圧子を押込み、数 $\mu\text{m}$ ～数10 $\mu\text{m}$ のくぼみから材料の硬さを測定する装置。金属材料の硬さだけでなく、微小部分の硬さ分布やめっき膜等の硬さ評価にも利用できる。								
設置場所	静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 26年1月	2		2					2
	H 26年2月	4	2	2			1		5
	H 26年3月	1	1						1
	H 26年4月								0
	H 26年5月	5	3	2					5
	H 26年6月	5		4			1		5
	H 26年7月	5	1	4					5
	H 26年8月	14	7	9					16
	H 26年9月	4	4				2		6
	H 26年10月	9	2				7		9
	H 26年11月	2					2		2
H 26年12月	6	1				5		6	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種々の条件で溶接試験を行ったサンプルを評価する際、硬度分布を測定しなければならなかったが、自動測定機能のあるおかげで、高精度かつ効率的に測定することができた。</li> <li>・従来設備では硬さ測定にかなりの時間がかかったが、研磨、硬さ測定、組織観察を分担、平行して行うことが可能となり、2日で20個の検体を測定することができ、非常に助かった。</li> </ul>								
研究開発事例等	<p>「高機能・低コスト・軽量化のための高板厚ハイテン材プレス加工と溶接の高度化技術開発」  高強度のハイテン材は、自動車の骨格部品では2mm程度までの板厚のものが利用されていたが、3mm以上の厚板を用いることで、鋳造で作られている構造部品を、プレスと溶接に置き換え、軽量化とコスト低減の両立を達成する。</p>								
補助事業概要の広報資料	<a href="http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-130koho.pdf">http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-130koho.pdf</a>								

事業者名	静岡県								
機器名	恒温恒湿室								
写真									
特徴・用途	温度制御範囲 : -40℃～80℃, 湿度制御範囲 : 30～95%RH (at 20～80℃) 用途 : 大型製品の環境試験								
設置場所	静岡県工業技術研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 26年1月								0
	H 26年2月								0
	H 26年3月	2						2	2
	H 26年4月	15		3	3	76		2	8
	H 26年5月	13		2	2	100		2	6
	H 26年6月	3		2	2	24		2	6
	H 26年7月	16		3	7	300			10
	H 26年8月	6		2	1	43			3
	H 26年9月	13		2	2	100			4
	H 26年10月	10		2	2	75			4
	H 26年11月	3		2	2	24			4
H 26年12月	0							0	
利用者等の声	・問い合わせが、県内企業にとどまらず、県外からも来るようになった。 (－40℃まで下げられる恒温恒湿室が広く普及していないため)								
補助事業概要 の広報資料	<a href="http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-130koho.pdf">http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-130koho.pdf</a>								